

# 肢体不自由

肢体不自由とは、手や足、身体のどこかが動かない、あるいは動かしにくい状態にあることです。例えば、手足などの関節が曲がったまま固まってしまう、身体に力が入らない、手足が自分の思いとは関係なく動いてしまうなど、さまざまな状態があります。

肢体不自由の人は、車いすや杖などを使うことがあります。

## 困っていることを理解しましょう

車いすを使っていると、地面の段差や傾斜、物が置いてあって狭くなっている道で立ち往生してしまうことがあります。また、車いすの前輪は小さいので、溝にはまってしまうと、自力で抜け出すことができなくなることがあります。



車いす利用者は、出入口に段差があると通れません。また、エレベーターがないと上の階に行けません。



歩道や車いす利用者などのためのスロープに自転車などの障害物が置かれたり、狭い道路にお店の看板があつたりすると、車いす利用者が通れないことがあります。



車いすで走行中に、歩いている人の持っているカサやかばんがぶつかることがあります。



側溝のふたの目の粗いところ、歩道のタイルの割れ目などに車いすの前輪がはまってしまうことがあります。

音声コード

